

数字以上に、厳しい現実

東日本大震災と原子力発電所被害の比較**		東日本大震災		福神・浜路大震災	
被災者数(2011年5月現在)	22万5000人	22万5000人	約1000人	約1000人	約1000人
被災者数(2011年5月現在)	22万5000人	22万5000人	約1000人	約1000人	約1000人
被災者数(2011年5月現在)	22万5000人	22万5000人	約1000人	約1000人	約1000人
被災者数(2011年5月現在)	22万5000人	22万5000人	約1000人	約1000人	約1000人
被災者数(2011年5月現在)	22万5000人	22万5000人	約1000人	約1000人	約1000人
被災者数(2011年5月現在)	22万5000人	22万5000人	約1000人	約1000人	約1000人
被災者数(2011年5月現在)	22万5000人	22万5000人	約1000人	約1000人	約1000人
被災者数(2011年5月現在)	22万5000人	22万5000人	約1000人	約1000人	約1000人
被災者数(2011年5月現在)	22万5000人	22万5000人	約1000人	約1000人	約1000人

- 地震、津波に加えて、原発事故。
- 東日本広範に放射能汚染。(もちろん全世界に)
- 土地、食糧の汚染。居住不可能地域の出現。

ドラえもんにも



ウルトラマンにも



鬼太郎・目玉おやじにも、



震災復興への協力を依頼 したいよね



10月連休、松島経由で、



有名な瑞巖寺にお参り



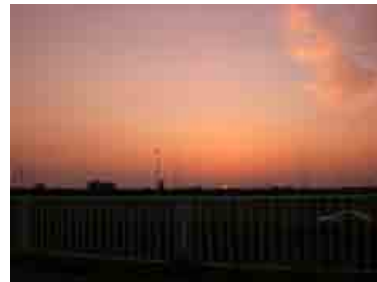
東北の復興を祈願し、



夕暮れの道を一路



雄勝へ向かいました



夜は、またまた交流会。



心のこもった歓迎の踊り



宴会には、「OH ガッツ」のメンバーも



NHK 瀬戸内寂聴 青空説法 in 雄勝



「OH ガッツ」とは！

- 若者が働きたくなるような漁業を創生する。
- 漁業と観光を結び付け、新しいマリーンツーリズムを立ち上げる。
- 「そだての住人」制度で、都市の消費者も、生産過程に参加してもらう。
- 3年間で、5万人のネットワークを構築することで、経営的にも自立していく。
- 雄勝を世界ブランドにする。

OH ガッツのMVP

- ・M(ミッション) : 日本の新しい漁業の形と雄勝の活性化
- ・V(ビジョン) : 漁師の新たな3K(カッコいい、高収入、休日有り) +イケメン漁師
- ・P(パッション) : 仲間を信じ、絶対にやり遂げる

10月の雄勝湾には



養殖作業に向かう漁船が見えます



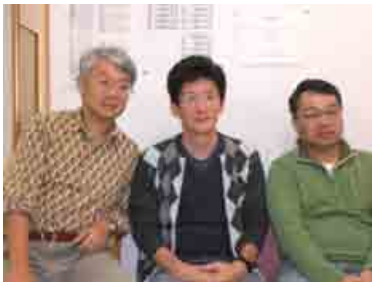
もちろん、医療支援は継続しています



ところで、10月5日雄勝町大浜に



雄勝診療所開設。所長は小倉医師



小倉健一郎先生の経歴

- 原点は阪神・淡路大震災での体験
- AMDAの活動を通じて、スリランカや四川大地震の災害医療支援に参加。
- 今回は、自ら、「無医村」になった雄勝町の診療所長として、志願。
→雄勝から、日本の新しい地域医療を創ろうと思っています。

来春の再会を期して、2011年最後の恒例の記念写真



その後、雄勝は11月からが本番



ホタテなどの養殖作業で



一番忙しい時期です



この小屋は、全部、瓦礫から



拾ってきて作りました



2012年元旦初日の出



2012年3月11日の水浜の供養祭



2012年4月28日から30日、連休を利用し、5度目の雄勝訪問



今回は、4月29日の昼食と夕食を、水浜仮設住宅の談話室で、ごちそうになりました。



なんで、皆、こんなに笑顔なの



この笑顔の中に、日本の未来が

- 日本が世界に誇れるものは。
「自然を敬い自然に感謝する。すべてのものに神が宿ると信じている。こういう日本人のDNAに刻み込まれていることが文化を支えている」
- 日本の伝統文化、食文化、教育を3本柱。
- 「すべてを流され、マイナスからのスタートの小さい町の創興に、皆が叡智を集め、新しい街づくりのモデルをつくり、全世界に広めていく」

「OH ガッツ」立花貴「心が喜ぶ働き方を見つけよう」

- 事業家兼見習い漁師
- 住民票を雄勝に移す。
- 雄勝の未来が日本の未来になる。
- 「すべてをなくした町がゼロから立ち上がるモデルを創る。」
- 旧き良きコミュニティと「外部」のボランティアとの融合



小倉先生、伊藤浩光さん、立花貴さん

